

登録コード	A3407200	開講年度	2026				
授業科目	森林利用学					担当教員	守口 海
英文授業名	Forest Utilization						三木 敦朗
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	2年生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】農学に関する広い知識・技術を修得している					森林を利用する際に必要な機械や設備等についての基礎的な知識を獲得している。	
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。					森林を利用する際に必要な機械や設備等についての基礎的な知識を獲得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	森林利用学の主要な分野である林業機械、森林作業、森林施設の3分野について、長野県における事例も取り上げながら論じる。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(5)授業計画	1. 森林利用学の基礎概念 2. 林業機械の構造（手持ち機械・車両系機械） 3. 林業機械の構造（架線系機械） 4. 林内路網の意義 5. 作業システムと作業安全 6. 長野県での森林利用の歴史と実態 7. マチューズの最適路網密度理論 8. 労働生産性 9. コスト分析 10. 架空索の理論 11. 架空索の設計 12. 過去の収穫作業 13. 自動化技術の応用事例 14. 炭素収支分析 15. 施設配置計画 授業アンケート 16. 期末テスト						
(6)自主学習の指針	授業は講義形式で行う。講義時に配布した資料で復習し、授業内容の再確認と補完を行うこと。						
(7)成績評価の基準	授業で示した練習問題と同レベルの基礎問題が解ければ「水準にある」、練習問題よりもやや難しい標準問題が解ければ「やや上にある」、標準問題よりもさらに難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、応用問題よりも上レベルの問題が解ければ「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	提示する参考図書や資料を用いて予習・復習をすること。						
(9)テストやレポートの予定	小テスト・中間テスト・期末テストを実施する。一部はレポート課題で代替する。						
(10)成績評価の方法	小テスト・中間テスト・期末テスト・レポートにより理解度を測る。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	講義後等に質問を受け付けます。メールでの連絡は mikia26@shinshu-u.ac.jp (三木) or kmor@shinshu-u.ac.jp(守口)						
(12)履修上の注意	【重要】本科目は2024年度以前入学者向けです。開講の有無や日程は、履修予定者と相談のうえ決定しますので、履修を希望する者は、履修登録前に必ず守口(B棟2階 203号室)に直接相談してください。 一部の講義では表計算ソフトを用いた計算演習を行うため、Excel等をインストールしたノートパソコンを用意しておくこと。また、内容の一部に微分・積分を含むため、事前に高校の教科書等で復習をしておくこと。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	吉岡拓如ほか『森林利用学』（丸善出版、2020）						